

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	上下水道局経營業務課管理事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	経營業務課				
施策	1-7	水需要に応じた水道事業の展開	主管課長	秋谷 孝				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	上下水道局の事務全般	意図	健全な水道事業運営
事業内容	上下水道局全般の事務管理業務を行っている。			
事業開始から現在までの状況変化	上下水道事業運営をより健全化させるため、組織の改編や一部業務の民間委託の導入等を行ってきたが、総合的な危機管理など多様化した新たな行政需要の増加に対応した事務管理をすることが求められている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
		①	落札率	94.08	94.41	91.24	%	→→
②	入札結果の公表	100	100	100	%	→→		
③	平均参加業者数	4.30	4.40	4.60	社	↑↑↑		
④	研修終了率	100	100	100	%	→→		
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 落札率が下がってきている要因は、金額の高い委託が多く、予定価格を非公表としていることが理由と考えられる。 また、制度の変更や新たな知識、技術の継承に必要な研修等は積極的に参加するよう努める必要がある。 各職員が経験等により必要な研修は異なるが、人事異動等があるため予算編成時期には把握が難しい。		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		43,776,973	45,481,025	44,496,399				
事業費(b)(円)		40,849,333	42,584,345	41,612,759				
うち一般財源		40,849,333	42,584,345	41,612,759				
職員給与費(c)(円)		2,927,640	2,896,680	2,883,640				
人役・職員(人)		0.24	0.24	0.24				
人役・再任用(人)		0.24	0.24	0.24				
人役・臨職(人)		0.20	0.20	0.20				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	工事の早期発注及び計画的な発注について、指導していく。	③取組における課題(Check)	工事業者の受注状況により、応札業者数が減ってしまうので、市長部局の発注状況にも留意しなければならない。
②H30に実施した取組(Do)	執行計画を作成し、時期を見定めながら発注していく。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	工事の早期発注及び計画的な発注について、引き続き指導していく。